

夢への挑戦

北海道教育庁檜山教育局 Career Planning Super Visor (進路相談員) 佐藤 憲喜

e-mail : [satou.noriki1@pref.hokkaido.lg.jp](mailto:satou.noriki1@pref.hokkaido.lg.jp)

令和4年度(2022年度)

令和4年(2022年)10月14日(金)発行

## 確実に仕事を進めるために!

確実に仕事を進めるために、みなさんにぜひ取り入れてもらいたいのが、「PDCA サイクル」という考え方です。

PDCA サイクルは、計画的に仕事を進める業務の管理方法で、「PLAN(計画)→DO(実行)→CHECK(確認と検討)→ACTION(行動)」の4段階を一巡するものです。ここに前号(12号)でも紹介した「ビジネスのハウレンソウ」という周囲へのコミュニケーションである「報告、連絡、相談」を組み合わせて仕事を進めるのが、組織における仕事の進め方のルールです。

① 組織の仕事は、適切なコミュニケーションを取り入れて進めます。

② 仕事を確実に進めるために、タイムリーに報告・連絡・相談をします。



### ◆ 仕事の流れ&PDCA サイクル&コミュニケーション

前段階  
仕事の指示を受ける

組織の仕事は、基本的に上位者からの指示で発生する。指示を受けるときには仕事の要点をメモし、復唱確認する。また、わかりづらい点は、アドバイスを求める。次段階からが実際のPDCA サイクルになる。

#### ① Plan <計画>

正確に遂行するために、仕事の要点を押さえ、仕事を期限内に完遂できるよう、計画を立てる。その計画内容を事前報告や相談で上位者に確認してもらう。計画をもとに関係者に連絡を取り、仕事の準備や段取りを整える。

#### ④ Action <行動>

③で検討した内容を次回の行動で活かせるよう、サイクルにしていく。

事前報告・相談

連絡・相談

#### ② Do <実行>

計画に沿って仕事を進める。計画倒れにならないように、責任を持つこと。また、問題が生じたら、速やかに指示を出した上位者へ相談する。

連絡・経過報告・相談

#### ③ Check <確認と検討>

ミスや誤りがないか、よく見直して確認する。正確にできていれば、指示を出した上位者へ報告・提出する。次に、レベルアップのための検討を行う。

終了報告

参考：厚生労働省 YES-Program

人を判断するときは、決して結論を急がないこと。

—— 野村 克也 (元プロ野球選手・元監督<ヤクルト・阪神・楽天>) ——